

さかあ町議会

Vol.96

発行 高知県佐川町議会



令和4年度決算報告	P2
令和5年度補正予算・臨時議会 ...	P8
9月定例会：一般質問に9人	P10
北見市姉妹都市 35周年訪問	P20
今回の表紙：「後継者」 庄田地区の藤田さん一家 (P19)	

令和4年度 一般会計・特別会計の決算を認定！

9月定例会

一般会計

前年の決算額と比較すると、歳入では、2千850万5千円余りの増額、歳出では、1億9千234万5千円余りの減額となっている。

歳入の増額は、町税の税率要件変更やたばこ税率の引き上げ、道の駅建設事業に係る補助金や建設費用の財源として借り入れた起債の増額、基金への繰入金の増などが主な要因となっている。

また道の駅や牧野博士顕彰事業、豪雪被害に対する農業者等への復旧支援事業などの特別交付税は増額している。

一方、普通交付税の新型コロナウイルス感染症対策の臨時経済対策費等の減額が大きく、地方交付税全体では減額となっている。また子育て世帯臨時特別給付金の事業費や新型コロナウイルス感染症対応の臨時交付金など国庫支出金が減少している。

歳出では、農業振興基金積立金や公共施設等適正管理推進事業費、おもちゃ美術館整備委託料、道の駅や牧野博士顕彰事業の事業費などが増額している。

一方、積立金と高度無線環境整備推進事業費補助金の減や庁舎耐震化事業の完了、子育て世帯臨時特別給付金の減、防災行政無線更新工事の完了などで減額となっている。



まきのさんの道の駅 佐川

特別会計

国民健康保険

各特別会計の決算額は、次ページの表に掲載しています。ここでは、各会計の決算年度の事業概要等を紹介いたします。

加入世帯は1千911世帯で、前年度末より47世帯減少している。被保険者数は2千818人で、前年度末より104人減少している。

学校給食

当年度の児童・生徒数は928人で、前年度より22人減少している。

また、給食費無償化に伴い児童、生徒等の給食負担金を一般会計から繰り入れている。

農業集落排水事業

加入状況は、区域内戸数186戸に対し、加入戸数は、157戸となっており、戸数加入率は84・41%、人口ベースでは、86・97%となっている。



介護保険

第1号被保険者（65歳以上）は4千904人で、前年度末より44人減少している。また、認定者は1千1人で、前年度末より8人増加している。

※町内65歳以上率40.6%



後期高齢者医療

被保険者は2千760人で、前年度末より50人増加している。

水道事業

事業収支は、純利益2千960万7千円の黒字決算となっており、継続的に利益が計上できている。普及率は90・61%、年間有収率は65・7%となっている。



病院事業

事業収支は、新型コロナウイルス感染症患者の入院受入れに係る補助金収入の増により、純利益7千213万6千円の黒字決算となっている。



年間取扱患者数は、入院患者2万9千596人、外来患者は、5万4千674人となっている。
介護老人保健施設の利用者は、3千768人、また、デイケア・デイサービスの利用者は、さくら荘3千759人、斗賀野荘5千375人となっている。

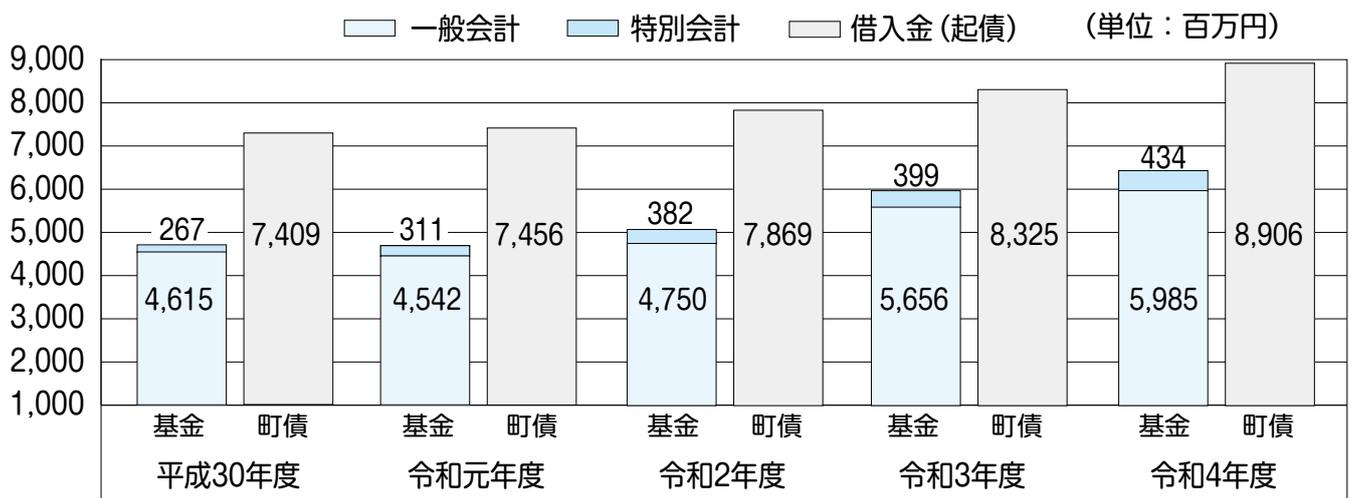
令和4年度各会計の決算状況

歳出総額 146億4,183万円

(単位：円)

会計名	決算額				
	歳入	歳出	翌年度繰越額	実質収支額	
一般会計	9,350,793,699	8,972,901,570	172,034,503	205,857,626	
特別会計	国民健康保険特別会計	1,780,252,347	1,736,656,984	0	43,595,363
	学校給食特別会計	59,598,213	59,598,213	0	0
	農業集落排水事業特別会計	39,110,672	39,110,672	0	0
	介護保険特別会計	1,735,709,379	1,681,945,427	0	53,763,952
	後期高齢者医療特別会計	253,179,583	248,623,054	0	4,556,529
	水道事業会計	196,293,923	166,686,610	0	29,607,313
	病院事業特別会計	1,808,439,270	1,736,303,220		72,136,050
総合計	15,223,377,086	14,641,825,750	172,034,503	409,516,833	

(水道事業及び病院事業特別会計は収益的収支を記載)



※借入金は、特別会計・一般会計の合計金額を記載

町の借入金

町債の新規発行額は、一般会計で約12億711万円、特別会計は合計で9千450万円となっている。また、未償還元金は、両会計合計で、約89億593万円となっており、前年度末より5億8千123万円の増加となっている。

町の基金

基金の状況は一般会計と特別会計の合計（令和3年度末現在高）が、60億5千512万円余り。年度中の積立額は約8億840万円、取り崩し額は約4億4千471万円となっている。令和4年度末の現在高は、約64億1千882万円。前年度より約3億6千370万円の増加となっている。

令和4年度一般会計決算の質疑



町 坂本議員 産廃施設建設に伴う県からの地域振興対策交付金について、現在までの執行状況は、体成分分析装置の使用目的は、また町民が使用できるのか。



町 山本町民課長 令和3年度が6千418万7千720円、令和4年度が9千408万2千500円と合計で1億5千826万9千770円。総額の15億円に対し10・55%の執行率となっている。

岡崎健康福祉課長

分析装置は、体の水分、タンパク質、ミネラルなどの測定、分析ができ、体の健康状態を画面に表示できるので、町民の方のフレイル予防に活用していく。

健康福祉センターかわせみのロビーに設置しており、気軽に測定できるので積極的に活用していただきたい。



町 下川議員 子ども家庭総合支援拠点事業について、拠点の役割、事業内容は、また、課題、問題点はあるか。

町 岡崎健康福祉課長 令和5年3月に拠点を立ち上げた。業務は、子ども家庭に関する支援をはじめ、養育相談、児童虐待などについての専門職が、関係機関と連携し必要な支援を行う。令和4年度の成果は、

岡崎健康福祉課長

身体や心理的虐待、ネグレクトなどの通告受理件数が15件あった。児童虐待などを含め専門的支援を行う専門職の確保や、学校や保育、民生委員などの情報の共有、情報の管理も含め課題があると考える。



町 岡林議員 中学生の不登校の人数が令和3年度19人から4年度16人に減少しているが、分母全体の生徒数と取り組み内容、今後の展望は。地域おこし協力隊に係る家賃補助や人件費などは全額、国から頂けるか。

町 濱田教育長 令和3年の中学生の生徒数は270人、令和4年が261人となっている。19人から16人への減少の背景には、計算の仕方が変わったことがある。今後も支援員、教員の研修や中学生の基礎学力

定着支援の公設塾の取り組み、また、教員や支援員の配置の維持など総合対策を行う。

岡田まちづくり推進課長

特別交付税で措置される。隊員一人当たり480万円が上限。また、隊員が卒業退任後に起業する場合、起業に要する経費に対し100万円を上限に交付税措置される。



岡村議員 岡村議員

加茂地区のヘリポートの工事は、嵩上げが必要か。近年の降水量を勘案し精査して欲しい。

片岡総務課長

今後、工事の設計を行い検討する。



永田議員 農業共済

収入保険加入促進支援事業費補助金200万5千円の内容と令和4年度の対人数は。

下八川産業振興課長 農

業者の収入保険の個人負担分の一部を町から補助し加入を促進する事業。10万円を上限に2分の1を補助しており、令和4年度の実績は33件となっている。



令和4年度 特別会計 決算の質疑



橋元議員 介護保険

特別会計の歳入歳出差引額5千376万3千952円の残額がでた経過背景は。また、介護施設などの利用者が減少した背景は。

岡崎健康福祉課長 介護

予防の取り組みが進み、要介護度が全体として抑えられ、介護給付費が抑制された。また、利用者の減は、地域密着型施設が増えたことや運営面で人員体制の問題もあると聞いている。

監査意見(要旨)

監査委員

英起 益隆 田浦 上松

予算の執行状況については、執行率は88・7%と前年に比べ4.5%低下している。不用額も4億6千万円超で予算現額に対し4.5%と、前年より1億900万円程度多くなっている。

適切な執行率を保つため、各事業においては年間計画どおり、進捗管理を確実に実行し、進捗管理を確保し、また、不用額も適宜、補正予算の手続きを行うなど、適正な予算執行に努められた。

今後においては、必要な財源を確保し、住民の負託と信頼に応えるべく、最少経費で最大効果を挙げるよう、計画的、効率的かつ効果的な行政運営を推進されることを要望して、監査報告及び意見とする。

令和4年度の一般会計の決算額は、歳入が、約93億5千79万円、歳出は、約89億7千290万円となっている。

歳入では前年度より0.3%、約2千850万5千円の増加、歳出では2.1%、約1億9千234万5千円の減少となっている。その結果、実質収支は、2億585万7千円余りで、前年度より約9千515万円の増額となっている。

歳入歳出決算額の前年度との比較では、道の駅

建設事業や牧野博士顕彰事業の事業費の増により、歳入では、県支出金や町債が、また、歳出では、商工費が増額となっている。一方、子育て世帯臨時特別給付金の減により、歳入では、国庫支出金が、また、歳出では、民生費が減額となっている。その他、積立金の減や庁舎耐震化事業の完了により総務費が、また、防災行政無線更新工事の完了により消防費が、減額となっている。

令和4年度決算

この事業に議会が

注目

9月定例会で、令和4年度の決算が認定されました。議会が注目した令和4年度の事業を紹介します。



道の駅・おもちゃ美術館に隣接する火薬庫の移転補償に対する経費
(火薬庫移転補償にかかる総額は5千743万円
そのうち用地代581万円)

火薬庫移転補償

3,640万円



道の駅に隣接するおもちゃ美術館内の木造造物などの整備委託料

おもちゃ美術館

2,633万円



牧野富太郎博士顕彰事業として主に、上町・佐川駅周辺の受け入れ態勢強化、環境整備。
・シャトルバス購入
・青山文庫磨き上げ工事
・情報発信のためのデジタルサイネージ購入
・歴史的な価値のある資料を展示・維持管理していくためのエアタイトケース購入
(一部抜粋)
そして牧野博士を知ってもらうための情報発信や各団体への補助金も交付した。

牧野富太郎博士顕彰事業

1億3,979万円

学校給食費・保育所副食費無償化事業

4,488万円



学校給食の無償化費用としては3千585万円。保育所副食費無償化の費用は781万円。
町外へ通学する家庭に対する補助金95万円。
また、食物アレルギー症状などのある子どもが弁当を持参する家庭に対する補助金27万円。

木造住宅耐震化事業

9,793万円



南海トラフ地震対策を推進するために、耐震診断や耐震工事など耐震対策に対する補助を行った。
（主な事業内容）
耐震診断78件、269万円
耐震設計69件、1千758万円
耐震工事59件、7千335万円

森林環境譲与税を活用した事業

2,804万円



森林環境税は令和6年度から年間1人1000円徴収される国税です。
私有林人工林面積、人口、林業就業者数などによる基準で、森林環境譲与税として令和元年度から市町村へ配分されています。
令和4年度は森林環境譲与税を活用して森林整備のための作業道開設補助、山林集約化の意向調査費用、林道維持管理などを行った。

消防ポンプ車更新

2,937万円



平成29年から毎年1台ずつ各分団の消防車両が更新されており、令和4年度は斗賀野分団のポンプ車が更新された。

9月 補正予算 ピックアップ

集落営農組織への支援
571万8千円

斗賀野地区で営農活動を行っている農事組合法人「トピアとかの」の、農機具格納庫整備費用に対する補助金。

斗賀野小学校校舎のバリアフリー化の工事
576万4千円

スロープ設置や車椅子対応洗面台の設置など、施設のバリアフリー化を行う工事。



基幹税務システムの改修
273万3千円

個人住民税の特別徴収税額通知の電子化及び森林環境税創設に対応するためのシステム改修。

住民基本台帳システムの改修
462万7千円

法改正に伴うマイナンバーカードへの氏名の振り仮名及びローマ字表記を記載するためのシステム改修。

諮問

諮問があつた人権擁護委員候補者の推薦について、次の方を人権擁護委員として適任者とする旨の答申を行った。

澤村 東太郎 氏
佐川町本郷耕 1897番地8

同意

佐川町教育委員会委員

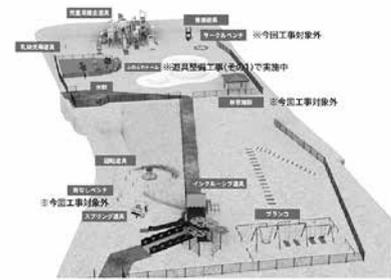
西森 政幸 氏
佐川町本郷耕 3478番地

工事請負契約締結

霧生関公園（仮称）遊具整備工事（その2）

（契約の方法）一般競争入札
（契約金額）1億147万5千円
（契約の相手方）有限会社 森岡工務店

事務組合の解散



高知県広域食肉センター事務組合は、令和6年2月29日をもって解散する。また、解散に伴う事務組合の事務は、高知市が承継する。

計画変更

加茂辺地に係る総合整備計画の変更

長竹、横山地区で実施している町道や産業振興施設などを整備する計画に、道の駅の遊具公園の事業費を追加する。

令和5年 第2回臨時会

第2回臨時会は、7月31日に開催され議案1件、報告1件を審議し、採決の結果、全件を可決しました。

令和5年度佐川町一般会計補正予算（第3号）においては、10月22日に執行された参議院議員補欠選挙の執行費として980万4千円をはじめ、原油価格や物価高騰の影響を受ける農業者や18歳までの子育て世帯などに対する支援などを行う新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に係る事業として4,106万4千円、また、道の駅の施設内や国道への出入りの安全を確保するための交通誘導員配置の費用として602万2千円など、合計で5,818万8千円が増額補正されました。

なお、補正後の一般会計の歳入歳出予算の総額は、88億1,028万1千円となりました。

議員各位の意思表明

賛否表（令和5年第2回臨時会：7月31日）

○：賛成 ●：反対 -：議長 欠：欠席

	齋藤光	岡林哲司	山本和輝	田村幸生	橋元陽一	宮崎知恵子	西森勝仁	下川芳樹	坂本玲子	森正彦	松浦隆起	岡村統正	永田耕朗	藤原健祐
令和5年度佐川町一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	欠	○	○	○

議員各位の意思表明

賛否表（令和5年9月定例会）

○：賛成 ●：反対 -：議長 欠：欠席

	齋藤光	岡林哲司	山本和輝	田村幸生	橋元陽一	宮崎知恵子	西森勝仁	下川芳樹	坂本玲子	森正彦	松浦隆起	岡村統正	永田耕朗	藤原健祐
人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
佐川町教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度佐川町一般会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度佐川町国民健康保険特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度佐川町学校給食特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度佐川町農業集落排水事業特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度佐川町介護保険特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度佐川町後期高齢者医療特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度佐川町水道事業会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度佐川町病院事業特別会計の決算の認定について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度佐川町一般会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度佐川町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度佐川町介護保険特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度佐川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度佐川町水道事業会計利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
高知県広域食肉センター事務組合の解散について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
高知県広域食肉センター事務組合の解散に伴う事務承継について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○
加茂辺地に係る総合整備計画の変更について	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○



松浦 隆起 議員

問 書かない窓口・おくやみ窓口 取り組むべきだ

答 一緒に検討していく

問 ご家族が亡くなられた時のご家族の負担を少しでも減らし、その悲しみに寄り添いながら手続

きを一つの窓口で行うことができるサービスがおくやみ窓口だ。
書かない窓口の推進とともに書かない窓口の設置を取り組むべきだ。また、お悔やみハンドブックも作成するべきだ。

山本町民課長

死亡届け出後の各種手続きについて、まとめてできるおくやみ窓口の設置は、住民サービス向上のため、必要であると考えている。

書かない窓口導入の取り組みの中で一緒に検討していきたい。おくやみハンドブックは今年度中に作成し、ホームページにも掲載していくよう進める。



「書かない窓口」の設置を

問 5歳児健診 取り組むべき

答 町の実情にあった体制を検討していく

問 発達障害児への支援において、大事な点は早期発見だ。5歳児健診の最大の目的は、早期の発達障害に対する気づきで



早期療育へ5歳児健診を

あり、早期に療育へつながっていくべきだ。ぜひ、本町でも5歳児健診に取り組むべきだ。

岡崎健康福祉課長

町では従前より乳幼児期からの発達相談事業に力を入れている。発達障害が疑われる子供が増えている。

5歳児健診を前提とまでは言いづらいが、健診の目的を踏まえ、早期発見や療育に繋がりがやすいように、福祉と教育が連携しながら町の実情にあった体制を検討していきたい。

問 体育館にエアコンの設置を

答 設置に向けての協議をしていく

問 学校体育館は、地域の避難所に指定されており、エアコン設置は、授業中の熱中症などの健康被害を防止することも、災害時の避難生活の質の向上につながるものだ。
国の支援制度や補助金を活用し、本町の大事な子どもたちの学びの場でもある体育館へのエアコンの設置に取り組むべきだ。

片岡町長

体育の授業で体育館に空調を入れてやるというのも、これからの時代、一定必要かもわかりません。そういったこともしっかりと、協議していかなければと思っ

今後、教育委員会とも、慎重に協議をし、設置に向けての協議をしていきたいと考えている。



体育館へ空調を



坂本 玲子 議員

問 マイナ保険証について どう思うか

答 不安を感じる

問 国は2兆円以上の予算をつけマイナンバーカード、マイナ保険証を強引に押し進めようとしている。また利用して被害を被ったとしてもデジ

タル庁の故意または重大失以外は責任を負わないとなっている。

高齢者や障害者では申請や管理が困難な方がいる。また情報漏洩の心配や誤登録の問題など不安が広がっている。

マイナ保険証のデメリットは何か、また多くの人が不安に思っているこの国の動きをどう思うか。国民の理解と納得のもと、慌てすぎて国民を危険にさらすことのないようすべきだ。

山本町民課長

マイナ保険証のデメ



申請や管理が難しいなあ

リットは利用できる医療機関が限られていること、カードの有効期限が切れていたら健康保険証として利用できないこと、紛失したときに再発行に時間がかかることなどが挙げられる。

マイナンバーカード取得は個人の意思によるものであり、強要するものではない。マイナ保険証には非常に不安を感じ

る。国には十分な対策をし、国民の不安を払拭していただき、国民が納得し、安心して利用できるシステムにすることが大切だと思う。

問 おもちゃ美術館 町内小学生以下無料化

答 前向きに協議する

問 おもちゃ美術館は雨の日も子どもが遊べる施設が欲しいという町民の願いで建設された施設だ。町内の小学生、障がい児者とその介護者の入場料無料化を検討してほしい。

下八川産業振興課長

障がい児者に関しては、本人のみ無料になっている。

片岡町長

小学生以下に関しては無料化に向けて前向きに考え協議をしていきたい。



通いやすいおもちゃ美術館へ

問 パートナシップ制度導入を

答 導入に向けて検討



自分らしく生きるまちへ

問 私は佐川町の誰もが自分らしく安心して暮らし、生き生きと活躍できる町であって欲しいと願っている。
パートナーシップ制度は当事者の気持ちにより添い、誰もが自分らしく安心して暮らし、生き生きと活躍できる事を応援する制度だ。佐川町でもぜひ導入を。

片岡総務課長

制度の導入に向けて検討を進める。また多様な性について町民の理解を深めるよう啓発に取り組んでいく。

問 新産廃工事で想定外の崩壊 連携会議の開催は

答 開催予定はない



該当箇所でのスレーキングの発生

※スレーキングとは

表層の石灰岩などを掘削したことで、かかっていた圧力がなくなり（応力開放という）、表面に現れた泥岩や軟岩が、吸水による膨張と乾燥を繰り返すことで細粒化してばらばらになる現象。



橋元 陽一 議員

問 新産廃施設の本工事で南斜面の掘削を開始して、スレーキングが起きたことを、町はいつごろから報告を受けたか。

想定外の崩壊で、工期が2年遅れるという重大な事態が起きているが、県と町は、整備に関して協議検討、情報共有を行う義務を負っている連携会議を開催する必要があらぬのではないかと。

また国費が4億円から9.2億円へ増額の要望は、認可されているか。さらに9.3億円の追加を要望していることについて、説明を受けているか。

山本町民課長

6月8日、県とエコサイクル高知より、南側斜面において、泥岩が細分化するスレーキング現象が起きていることで、斜面勾配を緩くする安全対策工事が必要だと説明を受けた。

日頃から綿密に情報共有を行っている中で、連携会議の開催予定はない。9.2億円の国費の増額は見込めると説明を受けている。未確定の9.3億円については満額交付されるよう、今後要望を行っていくと説明を受けている。

問 ‘24年秋の保険証廃止に対する町長の見解は

答 延期はやむを得ない



今の保険証は使えなくなるのかあ

今後、申請が困難な方へどう対応していくのか。

片岡町長

マイナーカードの保険証利用は、医療のDX計画推進に重要であると承知している。しかし、様々な問題が起きている中で、延期はやむを得ないのではないかと考えている。

町内国保被保険者数は2千809人で、約半数で手続きができています。施設入所者やカード取得が困難な方へは、出張申請受付を実施する。

その他の質問

・メディア漬けの子どもへの対応で立ち上げたプロジェクトチームの活動について

山本町民課長

現段階で町内の国保や後期高齢者保険での誤登録等の問題はない。

問 全国で様々な問題の発覚が報道される中、7月19日に政府の個人情報保護委員会がデジタル庁に立ち入り検査に入った。また県内20市町村長が24年秋の保険証の廃止を延期すべきだと表明していることも報道された。町長の見解は。

町内での認証誤認のトラブルはあるのか。

町内の国保被保険者数とマイナーカードへの保険利用手続きをしている人数は。



森 正彦 議員

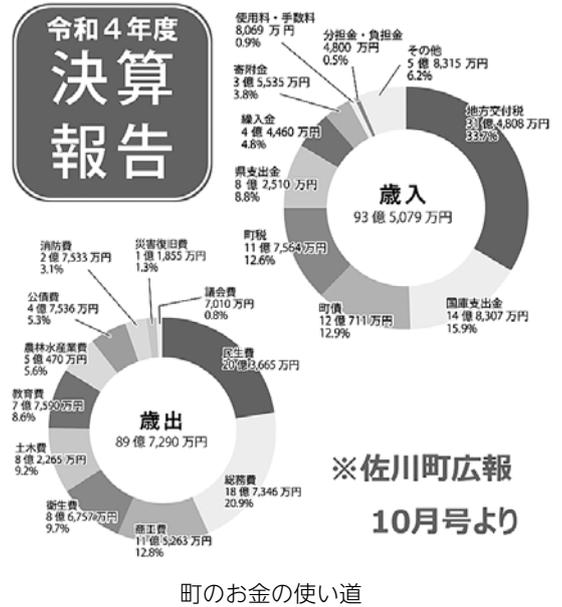
問 令和4年度の決算は片岡町長就任後、初の予算編成し執行した決算だ。その総括を聞つ。
公債費が増加している理由は何か、今後のシミュレーションは出来ているか。

片岡町長 決算の総額は89億7千万円あまりの大型となった。特徴としては道の駅、おもちゃ美術館、連続テレビ小説「らんまん」による観光客の受け入れ体制準備、新文化拠点の事業などを着実に進めた。また学校、保育の給食費と副食費の無償化も実施した。またコロナ対策や廃棄物処理場関連の地域振興策なども着実に進めることができた。決算においては2億500万円の黒字だった。

片岡総務課長 公債費は令和2年度以降、大規模な建設事業や地域振興策事業の実施により借入れが増加している。シミュレーションでは令和10年度に最大となり公債費は7億4千300万円くらいになり、実質公債費比率は9.0パーセント程度になるが財政健全化指数までは至らない予測である。

問 令和4年度決算 成果等の総括は

答 事業を着実に進めた



問 新規就農農業ハウス 導入実施の考えは

答 令和7年度実施を予定している

問 農業は地域振興や環境保全にとって重要な産業であり、後継者、新規就農者確保支援について研修ハウスは有効な支援策である。導入の考えはあるのか。
また導入予定であれば十分な調査研究が必要だがどのような体制で行う考えか。

片岡町長 研修ハウスは新規就農者を確保し、産地を継続発展させるうえでも有効であると考えます。予定としては、令和6年度に用地を選定し、7年度の事業実施の予定である。

下八川産業振興課長 安芸管内に研修ハウスが多くあり先進地の情報を得る。その事例をもとに現在、県の補助事業を所管している担当課や、高吾農業改良普及所、JAの関係部署と協議調整を進めている。
今後、具体的な段階になれば指導農業者の方や、生産部会などの農業関係者の意見や協力をいただくことになると考えている。



新規就農へ研修ハウスを

問 北見市常呂町の物産活用と職員の人的交流を

答 できるだけ早く道の駅での販売に努めたい



下川 芳樹 議員

問 らんまん終了後の観光客誘致の一つとして、北見市常呂町との姉妹都市提携35年を核とした、両市町の物産活用と職員の人的交流の復活について聞つ。



道の駅に設置した北見市の販売コーナー

下八川産業振興課長
道の駅で北見市の加工食品を取り扱うように協議を進めている。海産物、農産物についても通年販売できればよいが、保存する保冷庫、販売する陳列含め設備投資が必要であり、財団法人も含めて協議していきたい。

片岡町長
北見市の物産をできるだけ早く、道の駅で販売できるよう努めていきたい。職員間の交流は両市町を知ること大切であり、北見市と協議して可能であれば実施していきたいと考えている。

問 マイナンバーカード、全国市区町村長アンケートへの回答は

答 事務量全般重い、促進策どちらかといえば評価しないと回答

問 全国の市区町村長を対象に行ったアンケートで、マイナンバーカードに関する事務負担、政府のカード普及促進策について問う内容の回答結果が報道された。佐川町の回答と今後の対応について聞へ。

山本町民課長
事務負担については、「事務量全般に重い」と回答。



マイナカードの事務負担は重い

国が進める普及策については、もう少し時間をかけて進むべきとの考えから、「どちらかといえば評価しない」と回答した。

片岡町長
国として時間をかけ、不安のない安心して活用できる制度にしてほしい。町村会や県内の町村と協議していきたい。

問 役場職員に地域貢献活動休暇の創設を

答 実効性のある制度となるよう研究進める

問 自治体が条例で定めた職員の特別休暇として、地域貢献活動休暇を創設できるこの報道があった。

町でも地域社会の担い手不足は否めず、年間少しの時間を職員で分担して地域住民のために割いてほしい。そのための地域貢献活動休暇を創設してほしい。

片岡総務課長
この休暇制度の導入により職員も地域の一人との意識を醸成し、地域貢献の活動に自主的、積極的に参加する意識が広がることを期待される。

職員も参加しやすく住民にも喜んでもらえる、実効性のある制度となるよう、国の動向、先進地事例を参考に研究を進めていきたい。



宮崎 知恵子 議員

問 春日川の三野地区可動堰の復旧について経過説明を求める。

問 三野地区可動堰の復旧は

答 令和6年度中に工事完成



復旧が待たれる久万田堰

下八川産業振興課長
久万田堰は、農業用水堰と防火用水を兼ね備えている。
今年5月に、袋体のゴム部分が破損し、堰を膨らませることができず、早期復旧に向け機能保全計画の作成と設計準備をして、令和6年度中には、工事完成し、令和7年の作付けから活用の予定だ。

問 身体の状態に応じた住宅改造の助成について

答 経費の一部を助成する事業がある

問 要介護の高齢者や身体に障害のある人の住宅改造について補助事業はあるか。

岡崎健康福祉課長
高知県が単独で実施している住宅改造支援事業がある。
対象者は介護保険制度の要介護、要支援の方、65歳以上の高齢者のみで居住している方。身体障害者手帳の1級または2級の方など、体の状況等にに応じ、経費の一部を助成する。佐川町でも予算枠を確保、相談や申請に対応している。



高齢者や障害者にやさしい住宅へ

問 教科担任制について

答 県教委に専科教員を要請

問 政府は2022年から公立小学校の高学年で本格導入し教育の質の向上、学校の働き方改革を推進しているようだが、佐川町で実施してのメリット、デメリットを伺う。

濱田教育長
メリットとして、尾川の一貫教育校では、学校の組織力の向上と、高度な学習内容への対応に効果が出ている。
教育の質の向上に非常に有効であるので、県教委に町内への専科教員の増員を要請していく。



教育の質の向上を

問 ぐるぐるバス川内ヶ谷線の開設について

答 川内ヶ谷上自治会長より要望書が提出

田村 幸生 議員



問 コース開設までの経緯・全体の構想について
柳瀬・立野地区へのバス運行の検討を。

岡田まちづくり推進課長 経緯は、川内ヶ谷上の住民の現状を心配した自治会長が四月にアンケート調査を実施、調査の中ですぐに利用したい世帯が7世帯あり、乗り入れに關し要望書が提出された。
その後、現地説明会を行い意向確認をした。
川内ヶ谷線は運行が毎

週木曜日、奥畑が始発点で国道を交差し川内ヶ谷下へ進む（詳しくは広報誌9月号参照）。
バス停は川内ヶ谷上に

3ヶ所、川内ヶ谷下に4ヶ所、九反田へ1ヶ所、富士見町4ヶ所となっている。
コース全体では20ヶ所になっている。
柳瀬・立野方面への運行は以前から要望があり、令和7年3月のダイヤ改正に向けて候補の一つとして協議を重ねる。



奥畑バス停にて

問 おもちゃ美術館・学芸員について

答 学芸員は、遊びを伝え 笑顔を引き出す伝道師



重要な存在の学芸員

問 おもちゃ学芸員が来やすい環境づくりについて、駐車スペースの確保と自由に座って休憩ができる場所の確保は、美術館の成功を左右する要素。今後発生する修繕や更新の資金調達の方をを問う。

田村副町長
おもちゃ美術館は多世代交流施設で、木育の推進や良質の遊びの提供を進めていく。

おもちゃ学芸員は、おもちゃと遊びを伝える。また、お客さまの笑顔を引き出す伝道師として、重要な存在。

下八川産業振興課長
駐車は、基本的には職員駐車場へお願いしている。しかし、台数にも限りがあり施設運用の中で上手に活用して欲しい。
臨時駐車場の一部をおもちゃ学芸員用としておくなど多様な方法があるので、気持ちよく参加できるように考えていく。

おもちゃ学芸員の休憩スペース確保については、美術館内で対応するか道の駅側で対応するのかも含めてスタッフや学芸員の意見を聞きたい。
おもちゃ美術館のおもちゃの修繕や調達費用などは、入館料で運営することになる。
年間4万人の入館者数で運営できると考える。それ以外の収入はオリジナルのおもちゃの販売を予定している。

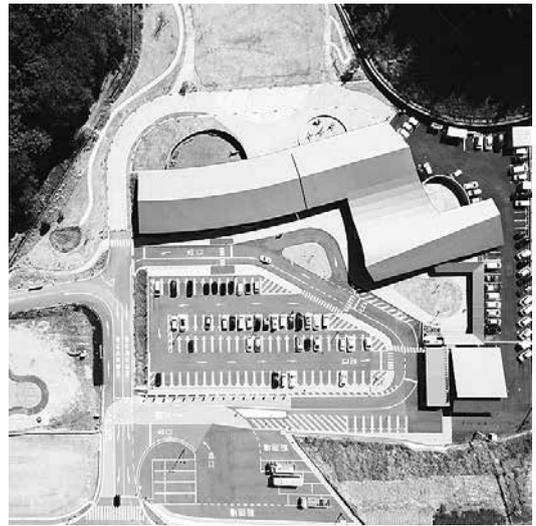


齋藤 光 議員

問 道の駅建設にかかった費用のうち一般財源はいくらかかったか？

答 一般財源の支出は約1億4,600万円見込み

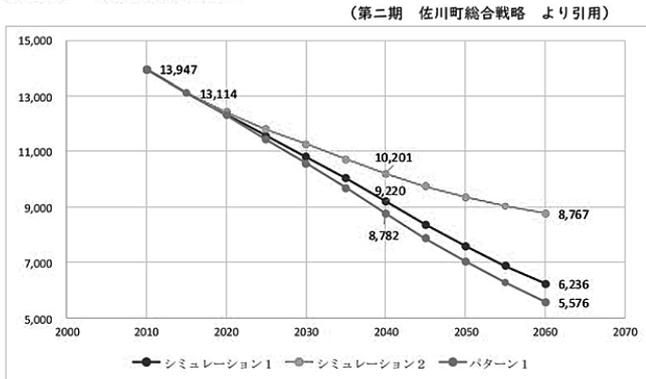
問 6月25日、佐川町に「まきのやんの道の駅」がオープンした。連日多くの方が利用し、佐川町の大きな拠点として今後の活躍が期待される施設だが、町民の意見として、佐川町の財政面への負担を気にする声が少なくない。道の駅事業の工事費が総額でどの程度かかったのか？そして補助金や辺地債などの適用額はいくらなのか？



期待大きい道の駅

片岡町長 道の駅とおもちゃ美術館を含む施設の基本設計、実施設計、建設工事、施工監理の費用合計で10億7千万円。財源の内訳は、国の補助金及び交付金が約2億5千500万円、県の補助金5千300万円、辺地債7億3千200万円。その他基金約3千万円。辺地債の毎年の償還も考慮した実質的な一般財源支出合計は約1億4千600万円となる見込みだ。

●図表9 将来人口の推計(人)



●パターン1 社人研推計(人口の移動は最近の傾向が今後も続くとして仮定)パターン1をベースとして合計特殊出生率が2040年に2.07(人口置換水準)まで上昇すると仮定したものとシミュレーション1をベースに人口移動が全くなくなったと仮定したもの

問 将来の佐川町の人口推計どうなっているか？

答 2040年に8780人の推測

問 7月21日の市町村議会議員研修の中で、人口減少は避けられない事態にあり、人口のV字回復は難しいところか、人口の維持も夢物語になっていく自治体がほとんどだということだったが、佐川町の人口推計や長期的な人口推計を聞こう。

そして佐川町総合戦略では17年後に約3千人の人口減少が起きることが推測されていて、その場合には存続が困難になる集落が発生することが予測されるが、佐川町はどう対応していくのか？

岡田まちづくり推進課長 令和2年度の国勢調査によると、人口は1万2千323人となっており、年少人口10.8%・生産年齢人口48.1%・高齢者人口は41.1%となっている。国立社会保障・人口問題研究所が出した、人口の移動が今後も続くとして仮定した場合の推計をパターン1として、2040年に8千782人、2060年に5千576人となっている。人口が減っている各集落への対応として、集落活動センター、あったかふれあいセンターを中心とした小さな拠点を中心に取り組みを進めていく。



岡林 哲司 議員

問 道の駅豪雨での浸水 責任をもって早急な対策を

答 今後浸水しないよう 改善を約束する

【問】 短時間での大雨で道の駅の施設内に雨水の流入があった、どのような設計か。建物の所有者は町で責任がある、早急な改善を求む。また大地震への緊急対応マニュアル

があるか、避難計画・訓練は実施したか。

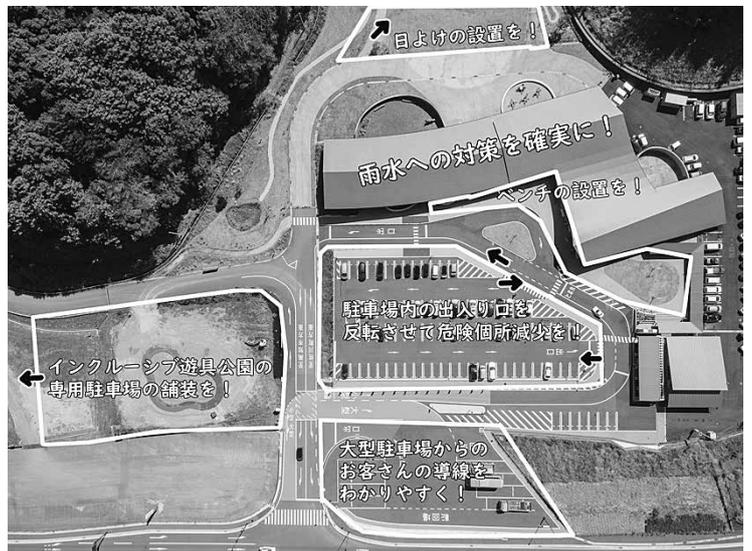
道の駅へのコメントや意見など確認しているか。代表的なものとしてベンチや日よけの不足など改善を提案する。

駐車場が不便という声があるメインの駐車場の出入り口を入れ替えてみては。また、大型駐車場からの直線的に道を横切つて人が移動しないような対策が必要ではないか。

現在設置工事中の遊具公園の駐車場はインクルーシブという観点からも舗装するべきではないか。

下八川産業振興課長

国土交通省が定める基準にそつた設計が必要であり、現在設計業者と対応の協議中、今後浸水しないように改善することを約束する。緊急対応マニュアル及び避難計画の作成は現在できていない、訓練もまだ実施できていない。



道の駅まだまだ改善の余地あり

グーグルマップのコメントなど適宜確認している。ベンチや日よけなど、提案について財団法人と協議し進めていきたい。駐車場の順路は安全性の確保のために今の順路となっている、より分かりやすく表示する改善をしていく。大型駐車場のエリアは国交省の管轄エリアのため、指摘の点を協議していく。

片岡町長

インクルーシブ遊具を設置した公園ということ売り出していきたい。そういった意味で今後の状況を見て、公園駐車場のアスファルト舗装について協議していきたい。

問 野良猫の去勢・避妊 手術の補助制度を

答 不妊・去勢含めた助成制度 前向きに検討していく。

【問】 野良猫のトラブルを耳にする。不妊去勢の手術への補助を。飼育動物の糞の処理などに関する佐川町環境美化条例10条の周知を。無責任なエサやりを減らす啓発を。愛護動物の遺棄に関する法律の周知を。(1年以下の懲役または100万円以下の罰金)

山本町民課長

野良猫の不妊の助成制度は、県の予算がすぐになくなる。また住民の方から助成制度に関する問い合わせもあり、住民のニーズの高さを感じる。個人で不妊去勢を行い、経済的な負担を強いられることも事実である。



不幸な猫を増やさない

不妊、去勢も含めた助成制度について、前向きに検討していきたい。また、地域猫活動は、高知市で盛んに取り組まれているが、地域の理解、協力なくては成り立たない。時間がかかる取り組みだが、不幸な猫を増やさないためにも調査研究をしていきたい。

高吾北広域議会

8月30日、広域議会が開催されました。提出された案件は、認定が1件と議案が3件でした。

認定は令和4年度の一般会計歳入歳出決算などで、一般会計は歳入総額9億6千708万6千円に対し、歳出総額は8億7千725万8千円で、8千982万8千円の赤字となったことでした。

ただ、監査委員の決算審査報告では、老人ホームの特別会計は赤字が続いており、施設の存続が危ぶまれることとで早急に具体的事業のあり方や財源等について協議し、結論を出すべきとのことでした。

議案は火災予防条例の一部改正や補正予算など3件でしたが、いずれも賛成全員で認定または可決されました。

なお、小田組合長の諸般の報告では、熱中症による救急搬送が増加した



が、熱中症はコロナと症状が似ており、受け入れ先が決まらず搬送に時間がかかったとのことでした。

また職員採用については4名採用予定のところ8名の応募があり、うち2名が管内とのことでした。

質 疑

問 箭野議員(越知町)嘱託医師派遣委託料は、なぜ施設によって金額が違うのか。

小野五葉荘所長

各施設ごとに委託する内容は精神科や内科と異なり、委託先はそれぞれ清和病院、山崎病院、大崎診療所となっています。金額については、診療回数などを含め、病院との交渉結果です。

日高村佐川町学校組合

9月21日、第3回定例会が開催されました。提出された議案は、令和4年度一般会計の歳入総額1億4千744万5千円、歳出総額1億4千117万3千



円で差引残高627万2千円の決算の認定と、教育費の分担金165万円の補正予算など3件でした。

いずれの議案も賛成全員で認定・可決されました。

四国四県 町村長・議長大会

9月28日、香川県琴平町において、町村長・議長大会が開催され四国四県の57町村長議長とともに出席しました。会では香川県知事や全国町村会長の祝辞に続き、議事に入りました。

提出された議題は、地方税財政や医療・福祉施策の充実強化、農林水産業の活力創造など6件でしたが、全て満場一致で可決されました。

また四国八十八箇所霊場の世界遺産登録に向け、四国が一体となって取り組むことをアピールしました。

今月の表紙

佐川町庄田

藤田 省三(父)二代目

和恵(母)

祐大(子)三代目

藤田 健二(父の弟) 収

穫時に応援

80年位前から佐川町庄田地区を中心に米(110アール・梨(20アール・生姜(50アール)を生産。現在、30歳の祐大さんが三代目として修業中、家族で力を合わせて農業を営んでいます。祐大さんの想い「農業は僕の家族の伝統です。父の知識や技術を学びながら自身の力を発揮していきたいと思えます」



佐川町・北見市姉妹都市提携三十五周年

佐川町と旧常呂町（現北見市）の姉妹都市提携三十五周年の記念式典が北見市で開催されました。8月4日から6日にかけて式典への出席や、関係団体へ表敬訪問しました。

議会からは、議長・副議長をはじめ各常任委員長・議会運営委員長・議会広報編集委員長が出席しました。



土佐神社開拓記念碑前にて



表敬訪問北見市庁舎内

初日は、市長・議長表敬訪問のあと、議場や庁舎の見学を行い、北見オホーツク太鼓「青虎天真」に迎えられて姉妹都市提携三十五周年記念式典に臨みました。

辻北見市長の挨拶に続いて訪問団を代表して片岡町長と西森議長が挨拶をしました。

式典に続いて行われた祝賀会では、和やかに親交を深めました。

2日目は、常呂漁協を表敬訪問し、ホタテ貝に見る「育てる漁業」の大切さを感じました。

続いて、JA常呂町玉ねぎ選果場の見学も行われ、車窓から見える畑の広さと、選果施設の規模の大きさに驚かされました。

また、新規就農の有無を問うと「ありません。新たに就農する場合は自己資金で1億円は必要です」とのことです、担い手育成の難しさを感じました。

その後、土佐神社に参拝し、いわれを聞き、先人のたくましさを感じました。

最終日は、NHK北見放送局のらんまんミニパネル展などを視察して、帰路につきました。



モダンな議場



選果規格の説明風景

あれはどうなったか？

あの質問のゆくえ



完備されたシャワー付きガス風呂釜
(池田団地)

問 町営住宅の風呂に
シャワー設置を
2022年3月議会一般質問

今の時代、町営住宅にもシャワーは最小限必要だ。計画的な設置を求める。
(永田耕朗議員)

答 町営住宅の長寿命化計画の見直しも必要だ。計画を立て取り組んでいく。

どうなった

池田団地で15世帯でシャワー付きガス風呂釜に取替。
R4 決算・工事費【224万円】

あなたが選んだ議員の
仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は12月8日(金)午前9時
開会予定です。傍聴においでください。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため傍聴席に入場
いただける人数を制限する場合があります。



編集後記

広報編集で私の活動も2年が経過しようとしています。この間、町の人口減少と一次産業の衰退という現実を目のあたりにして、これらの及ぼす影響による危機感を覚えずにはいられません。

身近な「地域の潜在力」に目を向ける必要があると感じ、住民の皆様のお力をお借りした「住民参加型のまちづくり」「地域資源の再評価」が必要不可欠になってきます。

皆様のお知恵・ご意見やアイデアを受け止め、更に皆様に読んで頂けるよう引き続き取り組んでいきます。

山本 和輝

議会広報編集委員会

委員長	田村 幸生
副委員長	齋藤 光
委員	橋元 陽一
委員	山本 和輝
委員	岡林 哲司

※わかりやすい紙面にと心がけています。
読後のご感想、ご意見をお寄せください。

ちいけで がんばる

高知地域林業ネットワーク「根っこワーク」代表の滝川さんにお会いしてきました。



〜どのような活動を行っていますか？〜

高知県で小さな林業を行っている人たちへ向けに研修を行っています。研修を行うことにより

高知地域林業ネットワーク

通称「根っこワーク」



今まで繋がりの少なかった林家、また林業に興味のある人たちがつながるネットワークを作り、林家たちのスキルアップを目指している団体です。

〜研修で工夫されていることはありますか？〜

より良い山づくりのためには、適切に山を整備していかなくてはなりません。

必要な間伐をひとつとっても、どの木を伐つて、どの木を残すか？という判断は意外と難しく、林家を悩ませ続けま

す。経験豊富な先生にアドバイスをもらえる機会は、意外と少ないので、高知県で自伐型林業をしている方々が今後より良い山づくりを行う手助けとなるような研修をこころがけています。



〜参加しているメンバーについて教えてください〜

佐川町の地域おこし協力隊と卒業後に林業を実践している林家（キョリンジャー）を中心に活動しています。

資金調達に関しては、現在は国が行っている休眠預金活用事業を利用しています。（休眠預金とは10年間取引の無い口座預金のこと）
去年度、全国で10団



体の枠組みのなかで、佐川町の林業への取り組みが評価され採択されました。（四国では根っこワークだけ）
〜今後の活動や、未来の展望についてお聞かせください〜

高知県、特に佐川町で林業をやっていききたい人へのサポートを引き続き行っていきます。

木の根のように
根付いて、拡がり、
地域でつながる林業に！



左端手前が滝川さん

〜研修を受けた人たちはどのような声が届いていますか？〜

林業をこれから頑張っていきたい。という人からは「勉強になった」という意見が多い。

また現在林業を行っている人からも「普段の疑問点や課題を解決する手段としての研修はありがたい」との声もいただけている。

〜何か伝えたいことなどありますか？〜

佐川町に活動内容を還元していきたいという思いがあります。林業を仕事にしてみたいという方は研修を受けてみて欲しい。

WEBページからも研修日程や申し込みができるので、ぜひ見てください。

あなたの周りで、佐川町の元気のためにがんばっている「組織やグループ」をぜひ紹介下さい。